



# ゆずりはの森から

第139号  
2014年11月1日発行



NPO法人  
ゆずりは学園

- 小学生
- 中学生
- 高校生
- 大学生
- 社会人

## 痛いけど無視されるよりかいい

「殴られるのは痛いけど、無視されるよりかいい」と答えます。一人であることは寂しいから、いつも友達に近ついていきます。友達とできるかごうかは分かりません。自分ではない「他人」の同じ年齢の子とも言うた方が当てはまるかもしれません。同じ年齢の子ともは、こちらの状況に構わず、しゃべって来るように感じられる時は、うんうんううとたまりません。

「近いな」「近いことを言います。しかし、何がいけないかで、いつのタイミングがいけないかが分かりません。だから、「あっちへ行け」と言います。それでもまた近ついてい



きます。するど手や足が出ます。子どもだけでは解決できない時です。こうした場合が学校現場では「いじめたとは思わなかった。しゃべっているように思った」といった言葉で表現されることがあります。いじめはなくなりたいと思えます。大きなニュースにはならないけど、まだまだ悲しい子どもも自殺はあります。「悩みの相談は受けていなかった」というコメントもよく見ま

す。いじめの相談を受けていて、自殺させてしまったのなら、また社会から非難されます。たとえ「相談は受けていなかった」とする言葉が逃げ道として用意されるように思えます。子どもと向き合うのではなく、社会の目を気にしているように感じられます。

「殴られるのは痛いけど、無視されるよりかいい」子どもたちが家族の中から社会の中に出ていくときには、大きな波があります。壁があります。自分との闘いをいつも子どもたちはしています。救いを求めているのですが、その手はなかなか大人の目につくことはありません。

## いじめの判断なんて出来な

文科省のフリースクールの会議に今月末、出かけます。14年前はフリースクールの言葉さえ、この私たちの住むところにはなく、法律用語とはなっています。いじめが深刻化した瑞浪事件も、加害者の生徒、学校関係者の言葉では「いじめ判断は難しかった判決が出た」ところです。

レベルをひきあげなかった。山頂にあるのに人がいるのを知っていたら、レベルを上げたのだが、判断が甘かった」というコメントを出したのが、地震火山研究センターの教授です。地元の人が分かるに微妙な変化はあるのです。データだけではつかめない現場の感です。

私たちの学園の横には三河湾があります。海の方から風が吹く、山の方から風が吹く、地元の人たちは雨が近い、寒くなる、晴れる、天気予報の情報より正確に判断します。長い年月の中の自然との付き合い方です。そして正確です。判断にいたる経緯はあります。最

終の判断は有識者の意見も聞いて、判断するという言葉もよく聞かれます。説明会はわずかではあるけど開催されます。しかしいつも結論は決まっているのが、日本流です。高浜原発の万が一事故に備えての、ヨウ素剤の配布が行われました。飲んで問題がない人だけに配布されました。原発事故のあの福島からまだ4年経っているだけに、原発は再開の方向に舵を進めています。また3歳未満児には、副作用もあるので、液状のヨウ素剤です。安全ではないのです。活断層の上にある原発も多分地震は起きないという判断がなされるのでしょうか。日本に処理能力もないのに、また太陽光での電力も可能なのに、「判断が良かった」の声がまた聞かされてくるように思えます。

いじめもまだまだなくなりません。先生の対応のまずさも、学校サイドのいじめです。指導との境も難しいです。判断基準マニュアルも難しいです。いじめ判断なんてできないのだと私は思います。フリースクールは必要です。不登校11万9617人の報告は悲しいです。



# 東日本大震災 NPO法人 ゆずりは学園 4年目に入る震災支援

- 参加者へ呼び掛ける3つの事
- 1 被災した皆さまの苦しみを分かち合う事
  - 2 今、ここにある命に感謝する事
  - 3 資源は無限にないことを知り、節約し、助け合う事

## 2013 [3年目]

- 1/19 ●大根、ミニトマト 福島市仮設住宅
- 2/16 ●ブロッコリー8箱 南相馬市仮設住宅
- 2/18 ●雑巾300枚 宮城県亘理町荒浜小学校
- 3/12 ●宮城県亘理町仮設・福島県避難仮設
- 4/9 ●野菜 宮城県亘理町
- 5/16 ●手作り玉ねぎ9箱、ペーパーコーン1箱、手作り味噌2箱 福島仮設住宅
- 6/4 ●レタス1800個(183箱) 福島仮設住宅、宮城県(雄勝町、女川町、亘理町)
- 8/17 ●ゴーヤ 福島仮設住宅
- 8/25 ●玉ねぎ、そうめん(長仙寺・医王寺・九聖院より) 福島仮設住宅
- 10/22 ●ミニトマト 福島仮設住宅
- 11/30 ●冬用スパッツ、靴下8,000足 福島仮設住宅24箇所
- 12/6 ●みかん12箱 福島仮設住宅5ヶ所



## 2014 [活動報告]

- 1/13 ●衣類 宮城仮設住宅
- 2/16 ●野菜 福島仮設住宅
- 3/15・16 ●田原の道の駅さんの協力でキャベツ450ケース、ブロッコリー120ケース、お米9000口、そのほかの野菜、果物130ケース 仮設住宅(宮城、岩手、福島)
- 4/23 ●布生地 福島仮設住宅
- 5/1 ●甘夏みかん 仮設住宅(宮城、福島)
- 5/10 ●夏みかん、タマネギ 福島仮設住宅
- 6/9~12 ●宮城、福島へ訪問支援(野菜、おもちゃ)
- 6/21 ●ミニトマト 福島仮設住宅
- 7/9 ●ドライフルーツ 福島仮設住宅
- 8/18 ●そうめん段ボール5箱(長仙寺・医王寺より) 福島仮設住宅
- 9/25 ●夏野菜 福島蓬萊若枝幼稚園
- 10/25 ●甘柿 福島蓬萊若枝幼稚園



お問い合わせ・連絡先

**ゆずりは学園事務局**  
〒441-3421 田原市田原町池の原15-3  
TEL:0531(22)3515 FAX:0531(22)7761  
e-mail:kutsuna\_ike@yahoo.co.jp  
http://www.yuzuriha-gakuen.com/  
http://ameblo.jp/yuzurihaschool/  
http://ameblo.jp/kutsuna-diary/

お知らせ

自閉症・アスペルガー等の「発達障害」の子を持つ親の会

**ゆずりはの会 (155回)**

○日時 / 11月14日(金) PM1:30~3:00  
○場所 / ゆずりは学園  
(毎月第2金曜日 12/12・1/9・2/13)

NPO法人 ゆずりは学園

**会員希望者 募集!!**

- 賛助会員 年会費2,000円
- 正会員 年会費5,000円
- 寄付 / 自由

三菱東京UFJ銀行 (普) 田原支店  
□座名義 / ゆずりは学園 理事 香名智彦  
□座番号 / 3627714

お便りを郵送します。  
お名前・ご住所をご連絡下さい。